

申告書記載例

所有者の住所・氏名・電話を必ず記載の上、押印してください。
 ※法人の場合は法人印と代表者名、代表者印もお願いします。

(マイナンバー)個人番号又は法人番号を記載してください。

個人の場合は、事業を開始した年月、法人の場合は設立年月を記載してください。

受付印	年 月 日 令和 3 年度	償却資産申告書(償却資産課税台帳)	当初入力No.	通知書番号 123456
住所 (又は納税通知書送達先)	665-6632-8665 逆瀬川1丁目1番1号 東洋町1番1号 (電話 XXXX-XX-XXXX)	個人番号又は法人番号	事業種目 (資本等の金額) 製造業	8 短縮耐用年数の承認 有・無
氏名 (法人にあってはその名称及び代表者の氏名)	株式会社 東洋ベーカリーズ 代表取締役 宝塚太郎 株式会社 東洋ベーカリーズ 宝塚太郎 屋号(東洋ベーカリーズ 宝塚店)	4 事業種目 (資本等の金額) 製造業	5 事業開始年月 平成 15 年 4 月	9 増加償却の届出 有・無
		6 この申告に 応答する 担当者 東一郎	6 経理課 甲野二郎 (電話 XXXX-XX-XXXX)	10 非課税該当資産 有・無
		7 税理士等の 氏名 (電話 XXXX-XX-XXXX)	7 東一郎 (電話 XXXX-XX-XXXX)	11 課税標準の特例 有・無
			8 西宮 税務署	12 特別償却又は圧縮記帳 有・無
				13 税務会計上の償却方法(定率法・定額法) 有・無
				14 青色申告 有・無
				15 申告税務署の名称

⑧～⑪で有の場合は、下記の書類を提出してください。
 ⑧ 国税局長からの承認通知書
 ⑨ 税務署長への届出書
 ⑩ 非課税適用申請書
 ⑪ 課税標準の特例適用申請書

申告している税務署の名称をこちらに記載してください。

資産の種類	取 得 価 値			前 年 中 に 取 得 した も の			= (イ) - (ロ) + (ハ) = (ニ)
	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの - (ロ)	前年中に取得したもの + (ハ)	前年中に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの - (ロ)	前年中に取得したもの + (ハ)	
1 構築物	5,300,000	100,000	300,000	5,500,000			5,500,000
2 機械及び装置	6,500,000			6,500,000			6,500,000
3 船舶							
4 航空機							
5 車両及び運搬具							
6 工具、器具及び備品	3,400,000	300,000	685,000	3,785,000			3,785,000
7 合計	15,200,000	400,000	985,000	15,785,000			15,785,000

事業所等の資産の所在地を記載してください。
 また、事業所用家屋の所有区分について、該当するほうを○で囲んでください。

借用(リース)資産がある場合には、その資産の名称、貸主の名称等をこちらに記載してください。

16 宝塚市内における事業所等資産の所在地(および家屋の所有区分)	① 東洋町1番1号 ② 逆瀬川1丁目1番1号 ③
17 借用資産(リース資産)	リース会社等 資産名 寿リース(株) 菓子製造設備
18 前年度より資産の増減	有・無 (有)
19 償却資産の該当なし	20 備考(添付書類等)
20 異動事項 (異動日: 2年7月1日) 該当項目を○で囲んでください。 ア.廃業 イ.市外転出 ウ.休業 ○ 住所(送付先)の変更 オ.氏名(名称)の変更 (新設法人・相続人及び合併先等)	
宛名 7654321	

申告する償却資産が無い場合は、こちらを○で囲んでください。

前年度より変更等がある場合、その他申告について参考となる事項等があれば、こちらに記載してください。

電算申告を行う場合は、(ホ)～(ト)の欄まで必ず記載してください。

取得価額	(イ)	前年前に取得したもの	前年度までに申告された方について、全資産の取得価額合計額を資産の種類別に印字しています。
	(ロ)	前年中に減少したもの =種類別明細書(減少資産用)と一致	前年中に減少した資産(申告漏れも含む)の取得価額を資産の種類別に記載してください。
	(ハ)	前年中に取得したもの =種類別明細書(増加資産用)と一致	前年中に取得した資産(申告漏れも含む)の取得価額を資産の種類別に記載してください。
	(ニ)	今年度の申告による全資産の合計取得価額	(イ)-(ロ)+(ハ)の合計を、それぞれ資産の種類別に記載してください。

【電算申告とは】
 電算機によって全資産について評価額を計算し、取得価額・取得年月・耐用年数とともに出力して申告する方法のことをいいます。
 必ず、全資産の明細書を添付してください。

〈電算申告〉の方は、下記の(ホ)～(ト)も記載してください。

増加した資産の記載例

(初めての方は、全資産について記載してください)

取得した年月を記載してください。
 年号については、あらかじめ令和を表す「5」を印刷しています。
 平成の場合は上から「4」と記載してください。
 (「平」「H」などの文字は使わないでください)

取得価額(税抜・税込は税務署申告に合わせてください)および
 法定耐用年数(「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」に基
 づく)を記載してください。

令和 3 年度

種類別明細書(増加資産・全資産用)

(通知書番号 123456)

- <資産の種類>
- 1-構築物
 - 2-機械及び装置
 - 3-船舶
 - 4-航空機
 - 5-車両及び運搬具
 - 6-工具、器具及び備品
- で、対応する数字を記載してください。

※当初入力No.		宛名番号		所有者名		枚のうち					
		7654321		(株)東洋ベーカリーズ		1枚					
行番号	資産の種類	資産の名称等	数量	取得年月		取得価額	耐用年数	増加事由	※課税標準の例		摘要 (4その他の場合はその詳細等も記載してください)
				年号	年月				率	コード	
1	01	1 日よけテント	1	5	1/7	300,000	8	①・2 ③・4			買い替え
1	02	6 冷凍庫	1	4	3/7	200,000	6	①・2 ③・4			申告漏れ
1	03	6 フライヤー	2	5	1/10	235,000	7	①・2 ③・4			
1	04	6 冷蔵陳列ケース	1	4	2/10	250,000	6	①・2 ③・4			神戸店より
1	05			5				①・2 ③・4			
1	06			5				①・2 ③・4			
1	07			5				①・2 ③・4			
1	08			5				①・2 ③・4			
1	09	該当資産の名称、規格等を記載してください。		5				①・2 ③・4			
1	10			5				①・2 ③・4			
1	11			5				①・2 ③・4			
1	12			5				①・2 ③・4			
1	13			5				①・2 ③・4			
1	14			5				①・2 ③・4			
1	15			5				①・2 ③・4			
1	16			5				①・2 ③・4			
1	17			5				①・2 ③・4			
1	18			5				①・2 ③・4			
1	19			5				①・2 ③・4			
1	20			5				①・2 ③・4			
小計			5			985,000					

資産の増加事由について、次のいずれかを○で囲んでください。
 1-新品取得
 2-中古品取得
 3-移動による受入れ
 4-その他⇒「申告漏れ」等の事由を摘要欄に記載してください。

注意1. 「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受入れ、4その他のいずれかに○印を付けてください。
 2. 「取得年月」の欄の年号については、4平成、5令和とし、それぞれの年号に対応する数字を記入してください。

第二十六号様式別表一

減少した資産の記載例

前年度までに申告いただいた内容により作成しております。

(電算申告の方、今年初めて申告される方には送付していません。)

変更

平成31年度より、送付しております「償却資産種類別明細書」に書き込みして、申告していただく方法に変更しております。

A 減少した資産がある場合は、取り消し線を引き、摘要欄に理由を記載してください。

また、この用紙にかえて種類別明細書（減少資産用）を提出いただいても結構です。

B 印字している内容に変更(一部減少等)がある場合は、取り消し線を引き、余白に正しい内容を記載してください。

当初 No.		宛名番号		令和3年度 償却資産種類別明細書										通知書番号 123456		No. 1	
		7654321		所有者名 株式会社東洋ベーカリーズ										枚のうち 1枚目			
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月	取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	※課税標準の特例率	※課税標準の特例期間年	※課税標準額	増加事由	摘要			
1	1	1	テンポナイソウイッシキ	1	H.15.4	5,000,000	10						1・2 2・4				
2	1	2	セコケテント	1	H.16.7	100,000	8							A 減少した資産がある場合、 資産の名称等以下を消してください。			
3	2	3	パンセイゾウセツビ	1	H.15.4	5,000,000	9						1・2 3・4				
4	2	4	パンセイゾウセツビ(カイリヨウビ)	1	H.20.10	1,500,000	9						1・2 3・4				
5	6	5	レイゾウチンレッツケース	4 5	H.15.4	1,200,000 1,500,000	6						1・2 3・4				
6	6	6	クーラー	1	H.15.4	200,000	6						1・2 3・4				
7													1・2				
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17													1・2 3・4				
18													1・2 3・4				
小計																	

B 資産の一部が減少した場合は、
取り消し線を引き、余白に減少後の内容
(数量・取得価額等)を記載してください。

摘要欄の書き方について

- ①**全部減少の場合**
減少事由を記載してください。
(例 売却・廃棄・移動・その他)
- ②**一部減少の場合**
減少数量と減少事由を記載してください。
(例 減少〇年〇月 2台 廃棄)
- ③**前年以前から減少していた資産の場合**
「申告漏れ・減少年月」を記載してください。
(例 申告漏れ 平成〇年〇月 売却)
- ④**その他変更理由等あれば記載してください。**

第二十六号様式別表一